

令和3年度

総合教育センター・子どもと親のサポートセンター 研究発表会

全国学力・学習状況調査について

～ちばっ子の学力向上に向けて～

学力調査部



発表内容

- 1 全国学力・学習状況調査結果の概要
- 2 全国学力・学習状況調査を生かした取組

※ 本日の資料を御用意の上、御覧ください

- ・スライド資料
- ・分析シート（サンプル）



1 全国学力・学習状況調査結果の概要



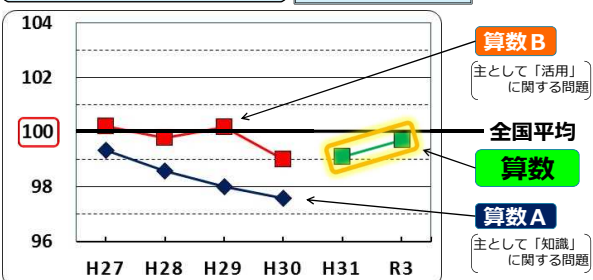
令和3年度 教科区別調査結果

公立学校の平均正答率（％）

小学校	千葉県	全国
国語	65	64.7
算数	70	70.2
中学校	千葉県	全国
国語	65	64.6
数学	56	57.2

本県の平均正答率の推移

小学校 算数



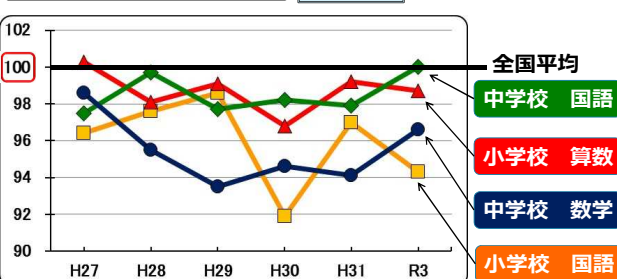
本県の平均正答率の推移

中学校 数学



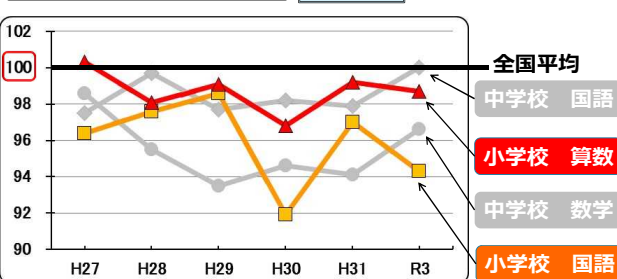
本県の平均正答率の推移

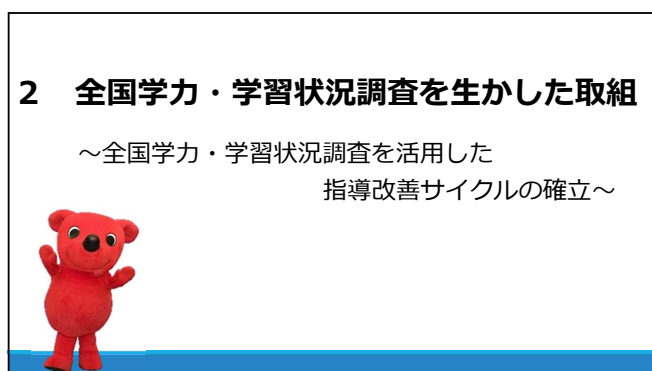
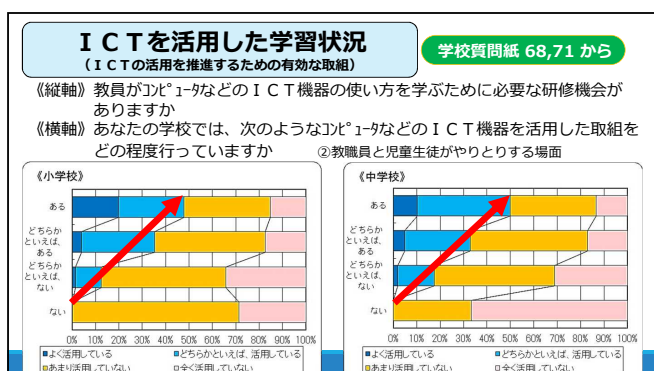
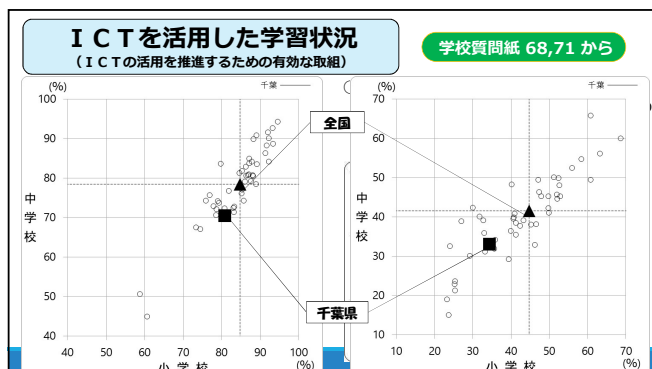
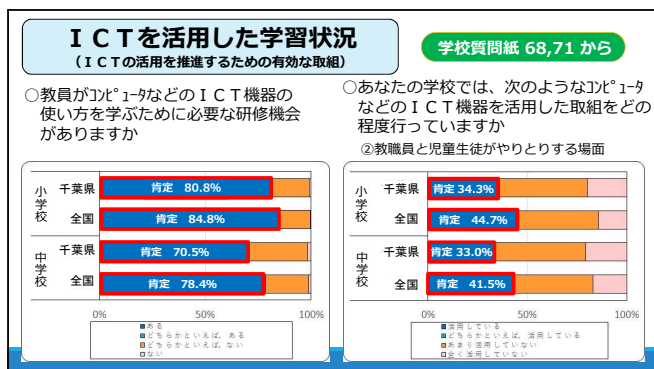
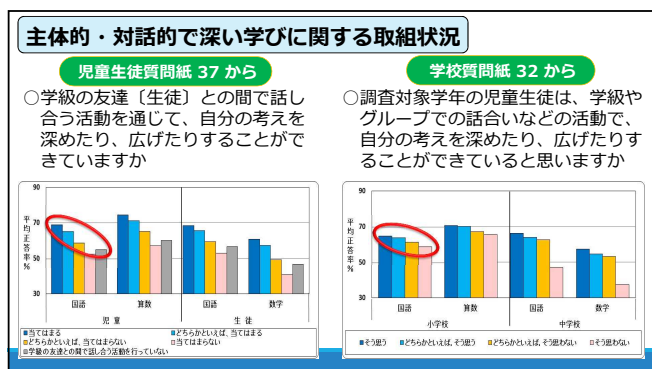
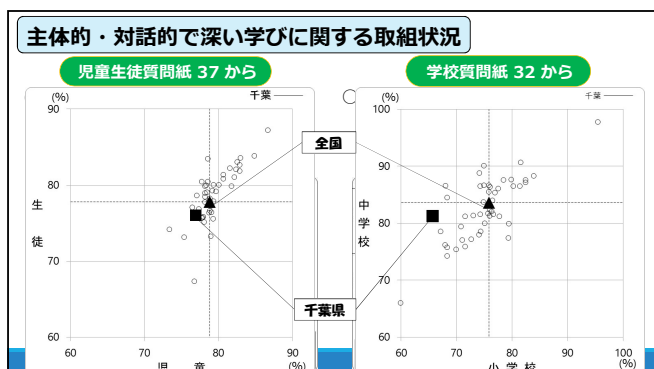
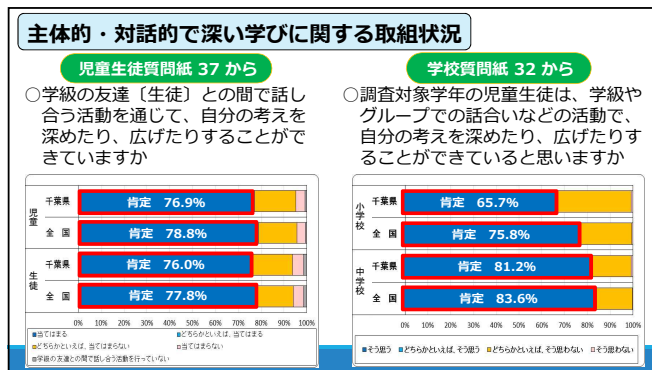
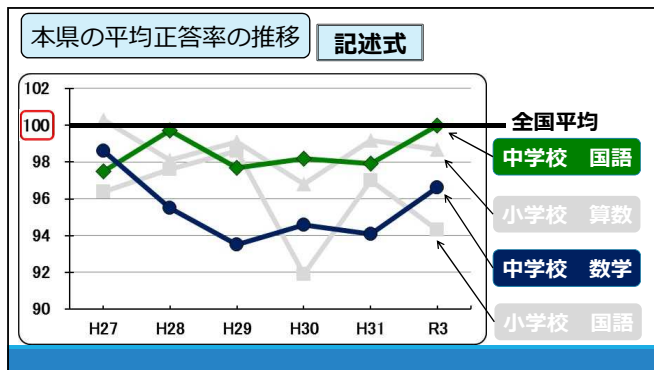
記述式



本県の平均正答率の推移

記述式





全国学力・学習状況調査の目的

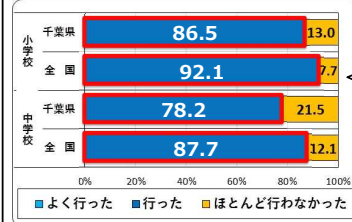
①国の教育施策の成果・課題の検証

②学校の指導の充実・改善

継続的な検証改善サイクルの確立

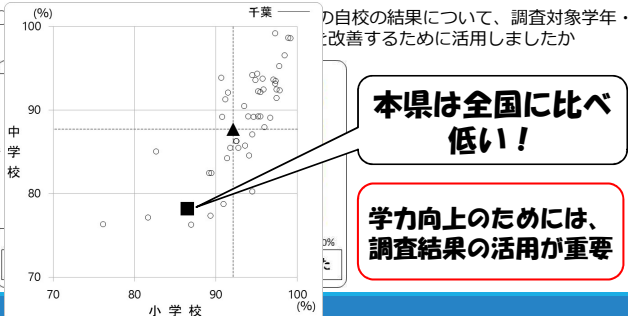
全国調査結果の活用状況

○平成31年度 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



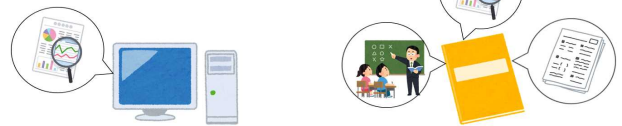
本県は全国に比べ低い！

全国調査結果の活用状況



全国調査結果の活用状況

学力調査部では・・・

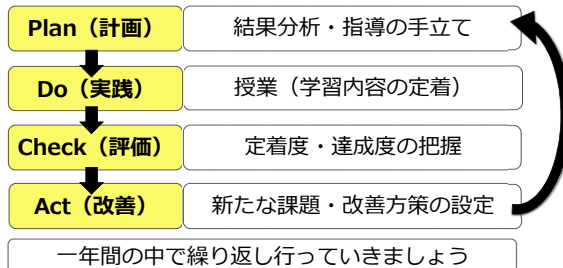


本県独自の分析ツール

学力向上の手引き

各学校、市町村教育委員会に配付し、調査結果の活用を勧めています。

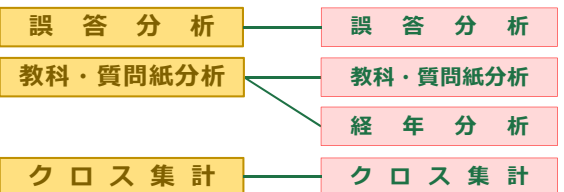
分析ツールを活用した指導改善サイクルの流れ



分析ツールの構成

3つの分析ツール

4つの分析シート



誤答分析シート

表面

設問の概要 解答の状況

反応率

解答類型

改善方策

関連する問題

裏面

学習指導要領における領域・内容

解答類型別反応率にみられる特徴とつづきの分析

誤答分析シート

表面

Plan (計画)

正答率より誤答率

誤答率が10%を超える解答類型は、課題としてとらえる

校内研修等、学校全体で分析する

なぜ間違えた？どう指導する？

報告書

改善のヒントはここにある

指導の実践

Do (実践)

誤答分析シート

裏面

PDCAの「P」で分析した内容を記入

改善方策を記入

関連する問題

Check (評価)

定着度、達成度を確認

新たな課題、改善方策の設定

記録を残し、学校全体で共有する

Action (改善)

教科・質問紙分析シート

表面

教科に関する調査
県や全国との比較

レーダーチャートで
わかりやすい

質問紙調査
自校の強みや弱みが
わかる

裏面

裏面には、学校での分析内容や改善方策、検証方法等を書き込み、記録できる

調査結果を分析し、記入

課題に対する改善方策と検証方法を記入

学校全体で検討する

経年分析シート

表面

教科に関する調査の経年比較

質問紙調査の経年変化を把握

裏面

教科・質問紙シートと同様に、学校での分析内容や改善方策、検証方法等を書き込み、記録できる

教科・質問紙シートと同様に、学校全体で検討して記録する

クロス集計シート

表面：回答の状況

四分位による集計

四分位層ごとに特徴的な反応率を示す質問

相関あり

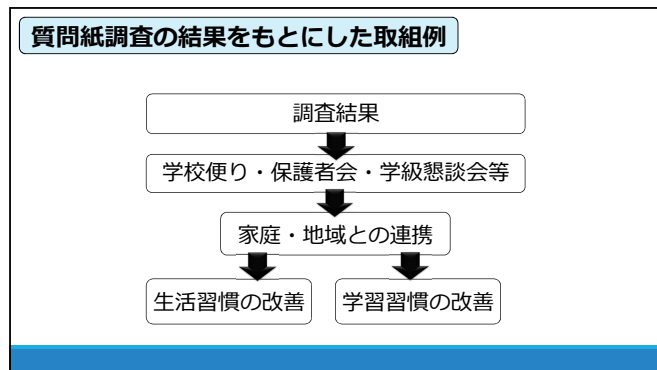
裏面：クロス集計の結果

児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力との相関関係を見ることができる

正答率との相関関係

グラフが階段状に推移している

相関あり



学力向上の手引き

- I 全国学力・学習状況調査の概要
- II 令和3年度 千葉県調査結果
- III 県の分析ツールの活用について
- IV 課題別実践アイデア例
- V 質問紙調査回答結果集計データ

千葉県総合教育センター 学力向上の手引き 検索

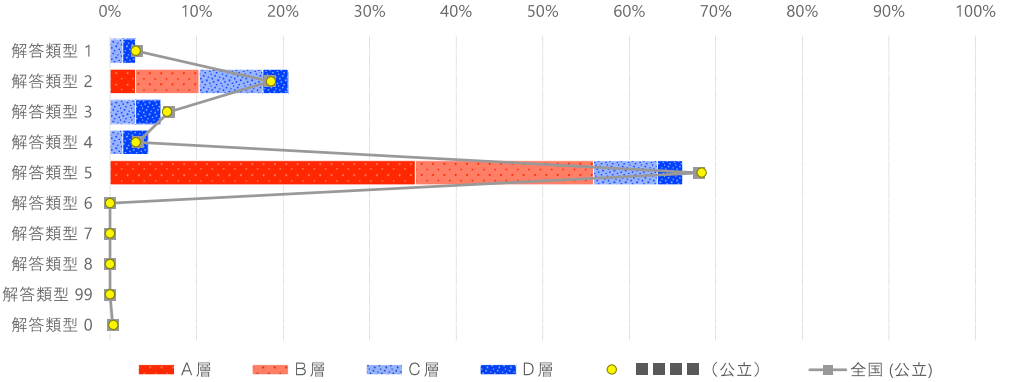
御清聴ありがとうございました



設問番号	設問の概要				
数学	3	中心角60°の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ			

解答の状況	[正答率]	学校	66.2 %	■■■■ (公立)	68.4 %	全国 (公立)	68.1 %
	[無解答率]	学校	0.0 %	■■■■ (公立)	0.4 %	全国 (公立)	0.3 %
正答の条件							

＜解答類型と反応率＞		上段：解答者数 下段：解答者数の割合（％）					正答
解答類型		A層	B層	C層	D層	全体	
1	ア と解答しているもの。	0	0	1	1	2	
		0.0	0.0	1.5	1.5	2.9	
2	イ と解答しているもの。	2	5	5	2	14	
		2.9	7.4	7.4	2.9	20.6	
3	ウ と解答しているもの。	0	0	2	2	4	
		0.0	0.0	2.9	2.9	5.9	
4	エ と解答しているもの。	0	0	1	2	3	
		0.0	0.0	1.5	2.9	4.4	
5	オ と解答しているもの。	24	14	5	2	45	◎
		35.3	20.6	7.4	2.9	66.2	
6							
7							
8							
99	上記以外の解答	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
0	無解答	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



※ A～D層（四分位）について
各層は集計対象者を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25％刻みで4つの層分けを行っている。
上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称する。正答数が同じ場合は、上位の層に含む。

四分位の基準：学校四分位

設問番号	設問の概要				
数学	3	中心角60°の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ			

出題の趣旨	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している
学習指導要領における領域・内容	〔第1学年〕B 図形 ②観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。 ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること。

＜解答類型別反応率にみられる特徴とつまずきの分析＞

＜学習指導の改善方策＞

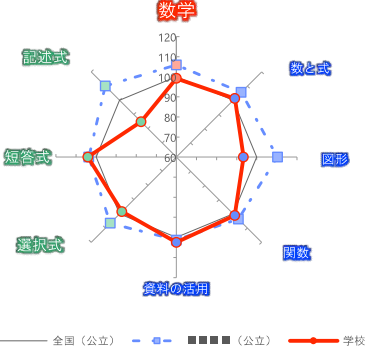
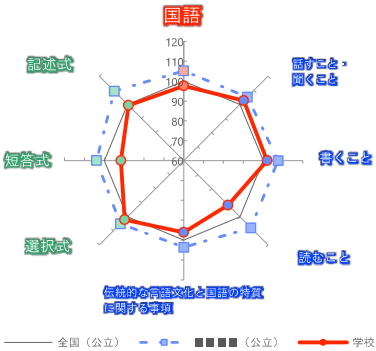
関連する問題	H21 A 5(4) H24 A 4(3)
--------	-----------------------

＜教科に関する調査＞

【国語】		設問数	正答率	相対値
全体	国語	14	64	97.6
			69	105.2
			65.6	—
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	82.7	102.7
			84.8	105.3
			80.5	—
	書くこと	3	57.3	102.0
			60.4	107.5
			56.2	—
	読むこと	4	46.0	91.6
			54.1	107.8
			50.2	—
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	74.0	96.1
			79.8	103.6
			77.0	—
問題形式	選択式	6	67.3	102.0
			69.3	105.0
			66.0	—
	短答式	4	70.0	91.6
			79.4	103.9
			76.4	—
	記述式	4	54.0	99.3
			59.5	109.4
			54.4	—

【数学】		設問数	正答率	相対値
全体	数学	16	59	99.2
			63	105.9
			59.5	—
学習指導要領の領域	数と式	5	68.8	101.2
			71.8	105.6
			68.0	—
	図形	4	51.0	93.4
			60.2	110.3
			54.6	—
問題形式	関数	3	57.3	101.1
			58.8	103.7
	資料の活用	4	57.0	102.5
			56.3	101.3
			55.6	—
問題形式	選択式	2	54.0	98.4
			58.5	106.6
			54.9	—
	短答式	9	75.6	104.1
			75.2	103.6
			72.6	—
	記述式	5	32.0	84.9
			41.5	110.1
			37.7	—

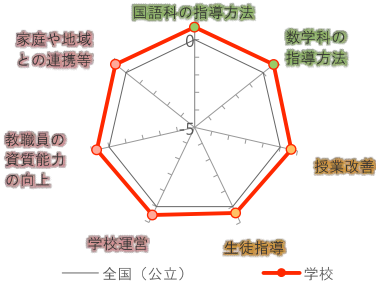
※教科レーダーチャートは、各区分の全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値を示したものである。



＜学校質問紙調査＞

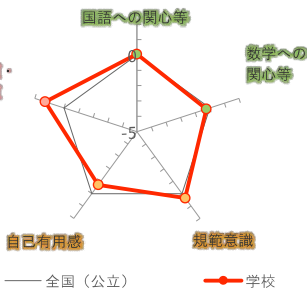
	国語指導	数学指導	授業改善	生徒指導	学校運営	資質向上	地域連携
パフォーマンス	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
スコアZ	0.71	0.75	0.64	0.40	0.53	0.71	0.76

※質問紙レーダーチャートは、文部科学省の「『全国学力・学習状況調査結果チャート』の作成方法」に基づき、「調査結果に関する補足説明 全国学力・学習状況調査結果チャートについて」に示された全国平均値及び標準偏差を基に算出した値を示したものである。なお、「教科学力」については、上記教科に関する調査と重複するため省略してある。



＜生徒質問紙調査＞

	国語関心	数学関心	規範意識	自己有用	生活学習
パフォーマンス	3.20	2.99	3.63	2.86	3.46
スコアZ	0.05	-0.24	0.36	-0.71	1.29



＜教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析＞

国語の調査結果にみられる特徴と現状	数学の調査結果にみられる特徴と現状
-------------------	-------------------

＜質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析＞

学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状	生徒質問紙調査の結果にみられる特徴と現状
----------------------	----------------------

＜改善策・検証方法＞

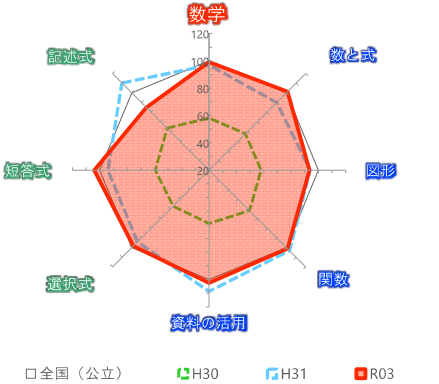
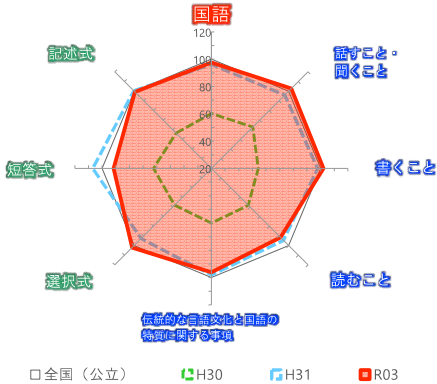
改善目標	改善方策（どのような取組を いつ・どの程度 行うか）	検証方法（いつ・どのように検証・評価するか）
------	----------------------------	------------------------

備考

＜教科に関する調査＞

【国語】					【数学】				
		R03	H31	H30			R03	H31	H30
全体	国語	97.6	96.2	60.2	全体	数学	99.2	97.0	58.2
	話すこと・聞くこと	102.7	95.9	62.9		数と式	101.2	90.0	57.7
	書くこと	102.0	97.8	54.3		図形	93.4	93.9	58.0
	読むこと	91.6	94.5	58.3		関数	101.1	103.2	61.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	96.1	98.1	60.1		資料の活用	102.5	108.7	59.0
形式	選択式	102.0	92.7	58.1		選択式	98.4	94.2	57.2
	短答式	91.6	106.9	62.4	形式	短答式	104.1	94.0	59.4
	記述式	99.3	100.5	56.6		記述式	84.9	110.2	63.5

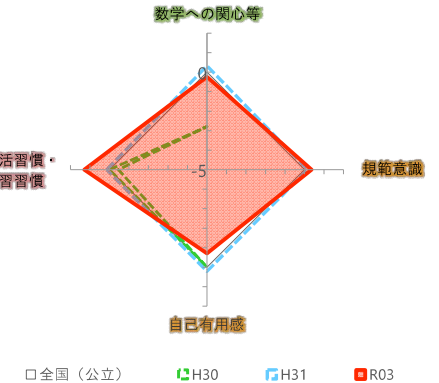
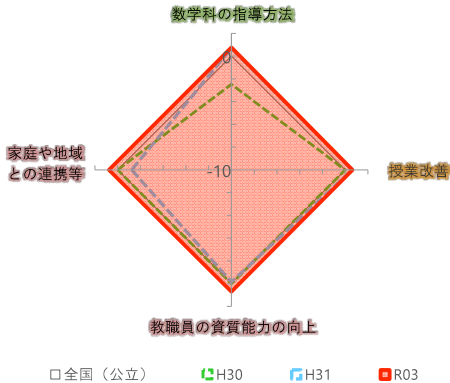
※表内の数値及び教科レーダーチャートは、各年度の調査結果について、それぞれの区分の全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値を示したものである。



＜学校質問紙調査＞

	R03	H31	H30		R03	H31	H30
領域Ⅱ 教科力の指導方法	0.75	0.70	-2.48	領域Ⅱ 数学への関心等	-0.24	0.33	-2.79
領域Ⅲ 授業改善	0.64	0.61	—	領域Ⅲ 規範意識	0.36	0.16	-9.54
領域Ⅳ 教職員の資質能力の向上	0.71	-0.15	—	領域Ⅳ 自己有用感	-0.71	0.21	—
家庭や地域との連携等	0.76	-1.24	—	領域Ⅳ 生活習慣・学習習慣	1.29	0.14	—

※表内の数値及び質問紙レーダーチャートは、文部科学省の「『全国学力・学習状況調査結果チャート』の作成方法」に基づき、各年度の「調査結果に関する補足説明 全国学力・学習状況調査結果チャートについて」に示された全国平均値及び標準偏差を基に算出したスコアZの値を示したものである。なお、領域Ⅰ「教科学力」については、上記＜教科に関する調査＞と重複するため省略している。また、令和3年度調査と共通する項目のみ表示し、共通しない項目のスコアZの値は“-（ハイフン）”で表示し、チャートには0として反映している。



＜教科に関する調査の結果にみられる成果と課題＞

国語の調査結果にみられる成果と課題	数学の調査結果にみられる成果と課題
-------------------	-------------------

＜質問紙調査の結果にみられる成果と課題＞

学校質問紙調査の結果にみられる成果と課題	生徒質問紙調査の結果にみられる成果と課題
----------------------	----------------------

＜改善策・検証方法＞

改善目標	改善方策（どのような取組を いつ・どの程度 行うか）	検証方法（いつ・どのように検証・評価するか）
------	----------------------------	------------------------

備考

--

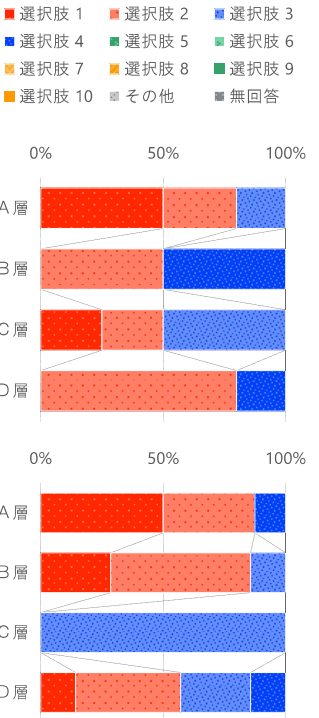
・以下の集計値／グラフは、調査実施日に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、生徒質問紙調査を実施した生徒の結果を対象としている。

質問番号	質問事項
(54)	数学の授業の内容はよく分かりますか

＜四分位によるクロス＞

上段：回答者数 下段：回答者数の割合（％）

		全体	選択肢										その他	無回答
集計対象		25	7	10	6	2							0	0
		100.0	28.0	40.0	24.0	8.0							0.0	0.0
国語	全体	25	7	10	6	2							0	0
		100.0	28.0	40.0	24.0	8.0							0.0	0.0
	A層	10	5	3	2	0							0	0
		40.0	50.0	30.0	20.0	0.0							0.0	0.0
	B層	2	0	1	0	1							0	0
		8.0	0.0	50.0	0.0	50.0							0.0	0.0
	C層	8	2	2	4	0							0	0
		32.0	25.0	25.0	50.0	0.0							0.0	0.0
	D層	5	0	4	0	1							0	0
		20.0	0.0	80.0	0.0	20.0							0.0	0.0
	数	25	7	10	6	2							0	0
		100.0	28.0	40.0	24.0	8.0							0.0	0.0
数学	A層	8	4	3	0	1							0	0
		32.0	50.0	37.5	0.0	12.5							0.0	0.0
	B層	7	2	4	1	0							0	0
		28.0	28.6	57.1	14.3	0.0							0.0	0.0
	C層	3	0	0	3	0							0	0
		12.0	0.0	0.0	100.0	0.0							0.0	0.0
	D層	7	1	3	2	1							0	0
		28.0	14.3	42.9	28.6	14.3							0.0	0.0
	追加科目	0	0	0	0	0							0	0
	A層	0	0	0	0	0							0	0
	B層	0	0	0	0	0							0	0
	C層	0	0	0	0	0							0	0
	D層	0	0	0	0	0							0	0



※A～D層（四分位）について
各層は集計対象者を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25％刻みで4つの層分けを行っている。
上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称する。正答数が同じ場合は、上位の層に含む。

四分位の基準：学校四分位

・以下の集計値／グラフは、調査実施日に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、生徒質問紙調査を実施した生徒の結果を対象としている。

質問番号	質問事項
(54)	数学の授業の内容はよく分かりますか

＜選択肢別の平均正答率＞

選択肢		回答者数	回答者数の割合（％）	平均正答率（％）		
				国語	数学	追加科目
1	当てはまる	7	28.0	72.4	74.1	
2	どちらかといえば、当てはまる	10	40.0	58.6	58.1	
3	どちらかといえば、当てはまらない	6	24.0	66.7	50.0	
4	当てはまらない	2	8.0	57.1	40.6	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
その他（選択肢以外の回答や複数回答されたもの）		0	0.0	—	—	—
無回答		0	0.0	—	—	—
合 計		25	100.0	64.3	59.3	

